

2026年度以降のカリキュラムマップ（文学部国際文化学科）

文学部国際文化学科		学部学科 DP番号	科目区分等 DP項目	必修科目		選択必修科目			選択科目
大学全体のDP				演習系科目 (除卒論)	卒業論文	国際関係科目	文化人類学科目	歴史・文化研究科目	広域科目・ 広域基礎科目
DP1【専門分野の知識・技能】	(各学科、各専攻の)専門分野に関する知識・技能を修得している。	DP1-1	国際文化学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		DP1-2	日本を含む世界における歴史的事象についての認識と解釈、現代世界の動きの理解と諸課題への対処、異文化理解の実践に関する基本的な知識・技能を身に付け、個人の関心テーマに応じた形でさらに専門的に修得している。	○	○	○	○	○	○
		DP1-3	日本を含む世界における歴史と文化についての基本的な知識と研究方法を修得し、これを用いて自他の歴史・文化を多角的に理解することができる。	○	○			◎	○
		DP1-4	文化人類学の基本的な理論、概念、及び方法論として重要なフィールドワークの手法を修得し、自ら課題発見をして異文化理解と異文化間コミュニケーションに応用することができる。	○	○		◎		○
		DP1-5	国際関係研究の基本的な諸概念や理論枠組みを把握し、それらを用いて世界情勢の主要問題を分析することができる。	○	○	◎			○
DP2【教養の修得】(広い視野での思考・判断)	人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野での思考・判断を行うことができる。	DP2-1	人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野での思考・判断を行うことができる。		○				○
		DP2-2	日本を含む世界の諸文化や諸課題に関し、学科教育の基盤をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。		○				○
DP3【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考)	課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。	DP3-1	課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。	◎	◎	○	○	○	○
		DP3-2	書籍、雑誌、新聞、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要に応じて必要な情報を入手することができる。	○	○	○	○	○	○
		DP3-3	日本を含む世界の諸文化や諸課題に関し、時間的及び空間的に幅広いデータを調査収集し、それらを分析しつつ、的確な解釈を行うことができる。	○	○	○	○	○	○
DP4【表現力、発信力】	自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。	DP4-1	自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。	◎	◎				
		DP4-2	日本を含む世界の国・地域・文化の状況、それらの歴史的形成や相互関係について、広く社会に発信する力を身に付けている。	○	○				
		DP4-3	日本を含む世界の諸文化や諸課題に関する理論的、実証的な分析を、わかりやすく文章や図表にまとめることができる。	○	○				
DP5【多様な人々との協働】(コミュニケーション＋協調性＋チームワーク)	多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	DP5-1	多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	◎					
DP6【自発性、積極性】	学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。	DP6-1	学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。	○					